

# 生活安全部 ～地域の安全・安心を守り続ける～

人々が安全、安心で明るい生活を送れるように、地域のパトロールや防犯診断などの防犯活動から、風俗営業等の生活環境の浄化や少年非行防止、サイバー犯罪の取締りなどを行っています。

## 美ら島を守るあなたの110番

### 交番・駐在所の活動



交番や駐在所の警察官は、昼夜を問わず、地域住民の身边でパトロール等を行い、住民の安全を守っています。

### 警察 110 番



通信指令課は、事件事故の110番通報を受理して、パトカーや交番員を迅速に現場へ派遣し、県民を事件、事故から守ります。平成15年からは耳や言葉の不自由な方々のために、携帯電話等のメールによる「メール110番」も運用しています。  
※「メール110番」アドレスについては、県警本部通信指令課又は、各警察署地域課に直接お尋ね下さい。

110通報は、あわてず落ち着いて警察官の質問にお答え下さい。

① なにがありましたか？  
(どろぼう、交通事故、けんかなど)

② どこでありましたか？  
(地番、目標となる建物、交差点名、電柱管理番号など)

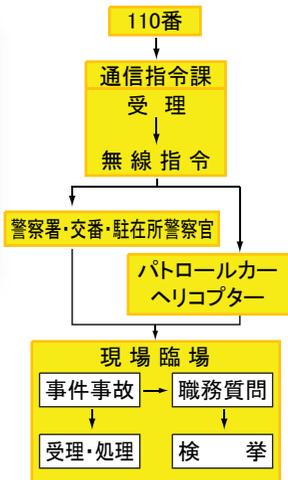
③ いつごろですか？  
(何分ぐらい前、何時頃の出来事)

④ 犯人は？  
(人数、人相、服装、乗り物、どの方向へ逃げたなど)

⑤ 今の状況は？  
(けが人、被害の状況、事件事故の様子など)

⑥ あなたの住所・氏名・電話番号などを教えてください。

事件事故は、迷うことなく早めの通報をお願いします。



## 生活環境浄化活動



## 少年非行防止活動



薬物乱用防止教室の開催



少年の居場所づくり(キンポール)

## ～ 地域防犯活動等 ～



宮古島まもる君等とともに地域の安全を守ります。



宮里美香選手も一日署長で  
夜間街頭活動に参加！

## ～ サイバー犯罪捜査等 ～

サイバー犯罪の捜査やサイバーパトロールのほか、サイバー犯罪被害の未然防止のための講話等を実施しています。



## Q&A

Q1 「交番」の名前の由来は何か？

A1 明治7年に東京警視庁の「交番所」が設けられましたが、当時は、警察官が警察署から特定の場所に向向いて、交替で立番をする形をとっていました。「交番所」の名称の由来は、「交替で番をする所」ということから「交番所」といったものと考えられます。今では、「交番」の治安確保機能が世界に認められ、「KOBAN」という名で世界に知れ渡っています。

Q2 巡回連絡とは何ですか？

A2 交番・駐在所に勤務する警察官が、地域の家庭や事業所を訪問して、身近な犯罪や事故の情報を提供したり、地域の方から警察活動に対する意見、要望を聞き、それを警察組織に反映させる活動を行います。みなさんの御理解と御協力をお願いします。

Q3 「パトカー」は、なぜ白色と黒色なんですか？

A3 パトカーが日本に登場した当時は、自動車の色はほとんどが白色で一般車両と見分けがつかせませんでした。そこでパトカーであることが一目でわかるように、白色ボディの下部をその反対色の黒色に塗りました。これが、パトカーを二色にした始まりで、昭和30年に全国統一されました。

Q4 110番通報で一番多いのは何ですか？

A4 交通関係が最も多く、平成24年中の警察措置が必要な有効受理件数158,037件のうち42,889件で全体の27.1%を占め、次に各種照会が28,412件(18.0%)、苦情相談要望が26,264件(16.6%)となっています。

Q5 少年犯罪で一番多い罪種は何ですか？

A5 平成24年中、警察に検挙補導された刑法犯少年は、1,090人となっており、うち最も多い罪種は窃盗の727人で全体の66.7%を占めています。

Q6 1年間で、補導される少年はどれくらいですか？

A6 平成24年中、深夜はいかい、飲酒、喫煙などいわゆる不良行為で補導された少年は40,887人で、そのうち、深夜はいかい、飲酒、喫煙、怠学の4行為で補導全体の95.0%を占めています。